

平成24年度 京都府立大学地域貢献型特別研究費(府大ACTR) 採択決定一覧

【A分野】府域の課題に的確に対応し地域振興、産業・文化の発展等に貢献する調査研究

	所属	代表者		研究課題
		氏名	職名	
A1	文学部	櫛木謙周	教授	学際的・国際的視点にたつ京都学構築のための方法的探究
A2	文学部	菱田哲郎	教授	神社・街道を中心とした城陽市域文化遺産の調査と情報化
A3	公共政策学部	小沢修司	教授	京都府における低所得者支援施策の効果的実施に向けた基礎的研究～京都式生活・就労一体型支援事業の効果検証、京都府における貧困率等の把握を中心に～
A4	公共政策学部	青山公三	教授	洛北地域におけるコミュニティバス導入の可能性及び自転車利用等の促進を図るための具体的方策に関する研究
A5	公共政策学部	吉岡真佐樹	教授	京都府における高等学校制度の発展と私学の役割 —1970年代以降の私立学校の歩みと今後のあり方についての研究—
A6	公共政策学部	瀬々敦子	准教授	京都府社会福祉協議会および府内の社協が行っている日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)について、主として同事業の利用者が意思能力を喪失した場合における成年後見制度への移行の方法に関して、全国の先進的事例の調査等を踏まえ、より良いサービスを提供するための調査・研究
A7	公共政策学部	藤沢 実	准教授	宮津市の地域活性化問題に対する京都府立大の地域貢献のあり方に関する調査研究
A8	生命環境科学研究科	矢内純太	教授	竹林間伐材を利用した竹粉および竹粉炭の特性評価と水田苗代用培土としての有効性の検討
A9	生命環境科学研究科	牛田一成	教授	宇治田原町特産「古老柿」皮乾燥物の有効利用
A10	生命環境科学研究科	中尾史郎	准教授	京都府北部の生物多様性の解明と保全、ならびに地域学術情報の集積と探求拠点の構築に関する研究
A11	生命環境科学研究科	中村貴子	講師	地元農林水産物を活用した食育の推進による健康づくりに関する研究
A12	生命環境科学研究科	増村威宏	講師	酒造用掛米として優れた京都産新品種を用いた、酒造に係る最適な搗精・醸造方法の開発
A13	生命環境科学研究科	中村考志	准教授	ブランド京野菜(桂ウリ・佐波賀ダイコン・鹿ヶ谷カボチャ)の食品機能性の特長づけとそれを利用した需要創出
A14	生命環境科学研究科	松井元子	准教授	黒大豆及び小豆の規格外品の有効利用
A15	生命環境科学研究科	松井元子	准教授	エダマメ新商品『京 夏ずきん』の食味特性の解明
A16	生命環境科学研究科	椎名 隆	教授	丹波漆を再興するための総合戦略
A17	生命環境科学研究科	大場 修	教授	亀岡市旧亀山城下町および周辺地域における文化的景観に関する調査研究
A18	生命環境科学研究科	松原斎樹	教授	体感温度の認知を活用した健康と環境に配慮した行動の促進の可能性
A19	生命環境科学研究科	三橋俊雄	教授	学生の感性を活かした西陣織製品開発・西陣紋意匠の手業文化の記録・西陣ミュージアム構想の検討
A20	生命環境科学研究科	田淵敦士	准教授	木製治山ダムの維持管理手法の開発—使用環境の水分条件が部材強度に与える影響
A21	生命環境科学研究科	田中和博	教授	上宮津スギ天然林の資源把握とスギ林成立・保存過程の解明
A22	生命環境科学研究科	田中和博	教授	京都府内におけるツキノワグマ目撃情報の解析と出没予測
A23	生命環境科学研究科	高原 光	教授	天橋立周辺の植生景観の変遷とクロマツ林の成立時期の解明 —天橋立の世界文化遺産登録をめざして—
A24	生命環境科学研究科	古田裕三	准教授	京都における木材製品の品質・環境性能両面からのブランド化と地産地消による地域経済への波及効果の検討
A25	生命環境科学研究科	古田裕三	准教授	環境浄化用竹炭加工品の科学的評価
A26	生命環境科学研究科	長島啓子	助教	丹後地域における未利用森林資源量の把握と活用誘導策の検討

【B分野】京都の文化、歴史、産業、自然等を全国又は世界に広く発信する調査研究等

B1	文学部	青地伯水	教授	京都をめぐる、ドイツを愛した日本の作家たち
B2	文学部	東 昇	准教授	京都地域情報・文化遺産データベースの企画、コンテンツ作成

24年度ACTR合計	28件
------------	-----